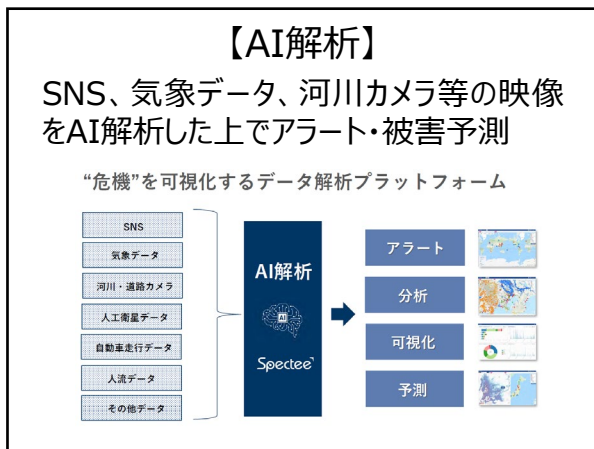


防災立国に向けた防災産業の育成・国際展開

- 災害大国である我が国は、幾多の災害を経験し、災害対応へのノウハウ、技術を蓄積。
- 近年、**デジタル技術**を活用した災害予測・把握や、**避難生活の環境改善**等の分野での**新技術・サービスが数多く誕生**。
- 気候変動による**災害の頻発化・大規模化に世界が直面**する中、**日本の防災産業は基幹産業となり得るポテンシャル**。

1. 災害対策における新技術・サービスの進展

- 近年、災害が激甚化・頻発化する中、予防から応急対応、復旧・復興の**災害のあらゆるフェーズにおいて、デジタル・先進技術を活用が進展**。

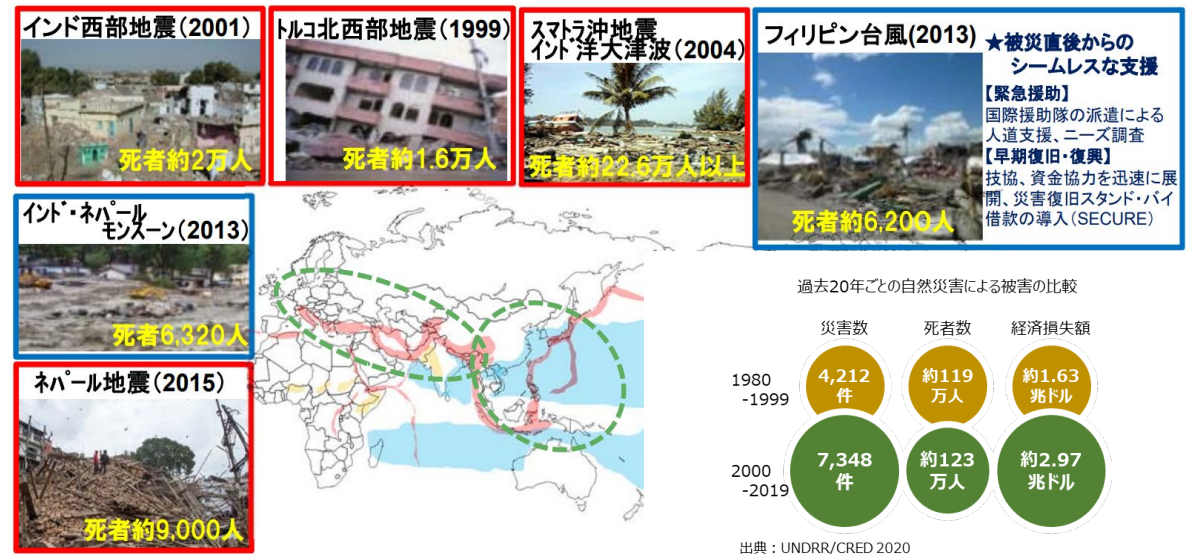


2. 我が国の防災産業の規模

- 内閣官房の調査によれば、国土強靱化に関する民間市場の規模は、2017年時点で合計15.6兆円と推計。
- 民間リサーチ会社によると、**防災情報システム・サービスに関する市場規模は、1,050億円(2021年度)から1,533億円(2027年度)に拡大すると予測**。

3. 世界規模での自然災害の増加

- 2000～2019年の20年間で、**世界では7,348件の大規模自然災害が発生**し、被害額は約2.97兆ドルに、**死者数は約123万人**。1980～1999年に比べ大幅に増加。
- 特に**東南アジアでは、近年、風水害被害が頻発化**。
- 2020年の世界の災害対策システム市場は**1461億米ドル(約22兆円)**。**2030年には毎年7.4%増の2981億米ドル(約45兆円)**。



4. 防災関連企業の海外展開の取組

- 令和元年に防災技術の海外展開に向けた官民連絡会（JIPAD）を設立。
- 各国に我が国の防災技術等を紹介する**官民防災セミナー開催、国際会議や展示会における情報発信や企業とのマッチング**。



➡ 拡大する世界の防災市場をリードする「防災産業」を育成